

予算特別委員会

3月15日、18日、21日の3日間、新年度の予算を審査するため、12名の委員で構成された予算特別委員会が開かれ、令和6年度の一般会計、特別会計及び企業会計を審査しました。

議案第51号「令和6年度筑西市一般会計予算」については、委員から修正案が提出され、賛成多数で可決されました。また、修正部分を除く原案を含め、その他全て可決されました。

委員長 藤澤 和成 **副委員長** 鈴木 一樹
委員 國府田和弘 塚田 砂与 吉富 泰宣 水柿 美幸 中座 敏和
 大嶋 茂 仁平 正巳 堀江 健一 榎戸甲子夫 赤城 正徳



次年度予算を審査

令和6年度一般会計当初予算を修正

予算特別委員会において、委員から議案第51号「令和6年度筑西市一般会計予算」のうち、「地域交流センター改修事業」9億4千万円を削除する修正案が提出され、同委員会では賛成多数により修正案が可決されました。

議案第51号「令和6年度筑西市一般会計予算」に対する修正案の内容

令和6年度筑西市一般会計予算案482億円のうち「地域交流センター改修事業」9億4千万円を削除し、472億6千万円とする。

修正案提出の理由

地域交流センター改修事業は大規模改修工事を実施することで空調設備等の不具合解消及び長寿命化を図るとしているが、当初建設費にも匹敵する事業費を投入することに市民の理解を得られているのか、また、他の公共施設等とのバランスも考慮し、事業内容の精査と事業費の見直しを図るべきと考える。

地域交流センターの在り方も含め、議員、執行部、市民によって再度慎重な協議及び修正を重ねるうえで事業を進めるべきである。

修正案に対する意見等

- 事業そのものを否定するものではないが、内容説明が不足している。一度全議員で現地視察を行い精査するべきであり、執行部には予算縮小について再考願いたい。そのうえで、次回以降の議会にて再度審査を行うべきである。
- 他にも見直すべき事業があると考ええる。この事業のみ修正することはバランスを欠くため反対である。
- 地域交流センターは修繕を重ね限界を迎えており、早急な改修が必要である。改修が遅れることにより、美術品に事故が起っては大変なことになる。
- 建築資材等の高騰により予算額の増加も懸念されるため、原案のまま可決すべきと考える。



特別会計、企業会計の詳細は広報紙 People 5月1日号を併せてご覧ください。



注目の事業

学校給食無償化
令和6年度予算額(軽減額)
3億4,791万円



学校給食費の保護者負担額を無償化することで、子育て世帯への経済的負担を軽減する。また、食物アレルギーにより弁当を持参する児童生徒や市外等の小中学校に通学する児童生徒の保護者に対し給食費相当額を助成する。

筑西市誕生 20 周年記念事業
令和6年度予算額
722万5千円



令和7年3月28日に合併20周年を迎えることから、未来へ躍動する「ちくせい」に繋げるため、20年の歩みを振り返りながら、誇りと愛着を高め、まちの魅力や地域資源を再発見することを目的とし、様々な記念事業を実施する。

地域産品活性化戦略事業
令和6年度予算額
3,451万4千円



市内の地域産品の磨き上げや掘り起こし、認知度向上、販路拡大等、地域産品の活性化を推進することにより、本市の魅力向上及び市内産品の振興に寄与する。

シティプロモーション推進事業
令和6年度予算額
1,675万4千円



市民が本市に誇りや郷土愛を持っていただけるよう、シビックプライドの醸成を図るとともに、新たに作成したブランドメッセージ・ロゴ等を最大限に活用し、市内外にPR事業を展開し、インナー及びアウトワープロモーションの推進を強化していく。

定住促進結婚祝金事業
令和6年度予算額
3,503万8千円



新婚夫婦を祝福するとともに、新たな夫婦生活の経済支援を行うことで定住を促し、本市の活性化と少子化対策の推進を図る。

奨学金返還支援事業
令和6年度予算額
1,452万2千円



奨学金の貸与を受けて大学等を卒業し、返還を行っている方の奨学金返還金の一部を助成し、経済的負担を軽減することにより、本市への移住定住の促進を図る。